

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC News No.105 を発行

塩化ビニル環境対策協議会

## ■随想

◇素人登山ビトの山日誌②&lt;八ヶ岳連峰・赤岳（長野県）&gt;

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

## ■編集後記

## ■トピックス

◇PVC News No.105 を発行

塩化ビニル環境対策協議会

11月15日に塩化ビニル環境対策協議会(JPEC)は [PVC News No.105](#) を発行しました。今号は「プラスチックと安全衛生」を特集のテーマにしています。No.105の構成は以下の通りです。

## ○特集：プラスチックと安全衛生

レポート1：三菱ケミカル(株)の工業用硬質塩ビ板・ヒシプレート

レポート2：カンボウプラス(株)の「ターポリン救護担架」

レポート3：押出成形の老舗(株)カツロンの安全製品

## ○リサイクルの現場から

(株)タイボー 平野二十四社長に聞く、  
「プラスチックリサイクルの現状」

## ○インフォメーション

- ①「テントフェスタ in 東京 2018」開催
- ②東京ローソク製造(株)のチャレンジ経営

## ○ものづくりの現場から

ソフビ人形60年。(株)フジトーイのものづくり

以下に掲載記事を紹介します。

今号の特集レポート1は、三菱ケミカル(株)の硬質塩ビ板を紹介しています。耐薬品性だけでなく難燃性規格の認定を受けている製品など半導体製造には欠かせない硬質塩ビ板。特徴や今後についてお話しいただきました。

レポート2はカンボウプラス(株)の塩ビターポリンの救護担架を紹介しています。ポリエステル繊維を使用して表面を塩ビで積層しているターポリンの丈夫で防水性の特長を活かした製品です。

レポート3は(株)カツロンの安全製品を紹介しました。路線バスの支柱の手すりを保護するカバーや歩行者用マットなど押出成型での多彩な製品づくりを手がけています。

リサイクルの現場からは(株)タイボーの平野 二十四(かずとよ)社長にインタビューしました。現在のリサイクルを取り巻く状況、これからイメージアップになるリサイクルをどんどん発信していくとの意気込みをお話いただきました。

インフォメーションとして、プラスチック(PVC)製クリスマスツリーなど装飾品を手がけている東京ローソク製造(株)の取り組みを紹介しました。浮き輪や家庭用プールなどサマーレジャー用空ビ製品も取り扱って夏冬の事業バランスをとっています。

ものづくりの現場からはソフビ人形の歴史を(株)フジトイを取材しました。ウルトラマンに始まり、様々なキャラクター人形製造を手がけています。実際スラッシュ成形で製造している現場を取材し、ソフビ人形づくりの難しさ、職人技を見せていただきました。

PVC Newsにご興味のある方は以下のurlからご覧ください。

<http://www.pvc.or.jp/>

ご講読を希望される方は、下記メールアドレスまで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

[info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

## ■ 随想

### ◇素人登山ビトの山日誌 ②<八ヶ岳連峰・赤岳(長野県)>

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

わたくし、(株)テオリアハウスクリニックの平 一暁(たいらかずあき)と申します。弊社は1974年設立のシロアリの防除会社。「何でシロアリ屋がVECのメールマガジンに寄稿するんだ!」というお叱りの声が聞こえてきそうですが、文字スペースの問題もありますので、ご興味のある方はVECさんのホームページ右上の「メールマガジン」という文字をクリック頂いて、[10月4日配信のバックナンバー](#)をご覧ください。幸いです…(汗)

さて、前回は山に登るきっかけと、山っていいもんだなと思わせてくれた<大菩薩嶺>について書かせてもらいましたが、山に登るようになって1~2年もすると素人ながら欲が出てきました。「山小屋に泊まるような登山で、どんな感じなんだろう…」私が最初にイメージした山小屋は、丸太の掘っ立て小屋で、汚くて隙間風が吹いているような…そんな建物を想像していたのですが、人に聞いたり調べてみると、どうやら違うらしい。じゃ、挑んでみようか!それも、やるからにはそれなりの山で!という事で、無謀にも八ヶ岳連峰の赤岳に照準を合わせ、計画を立てたのでした。



地蔵の頭でも、ガスに強風が吹き荒れる

標高 2,899m。そこから見える絶景はどんな感じなんだろう…。盛り上がり立って立てた計画はこんな感じです。

一日目。夕方に新宿西口出発の高速バスに乗り、21 時前に茅野駅着。駅前の宿に素泊り。

二日目。早朝のバスで茅野から麦草峠へ。麦草ヒュッテから白駒池、にゅう、天狗岳と登ってオーレン小屋に宿泊。

三日目。小屋を出て、硫黄岳、横岳と踏破し、赤岳天望荘に宿泊。

四日目。小屋を出て、赤岳登頂！その後、中岳、阿弥陀岳と巡り、行者小屋、赤岳鉱泉、美濃戸山荘と辿って美濃戸口に出て、バスにて新宿西口に帰京！

盛り込みました～。元々、欲張りなんです。文字で書いてもよくわからないと思うので、ぜひ添付の経路図を御覧下さい。まさに縦走って感じです…（汗）



にゅう山頂辺りまでは、何とか天候もキープ

でも、これだけ欲張って日数を確保しても、全日が晴天とは限らない。二日目の早朝、麦草峠から白駒池入口より登山開始。ここから、にゅう（2,351m）山頂までは何とか天候ももってくれてたんです。が、天狗岳の東天狗（2,640m）に来た所で、対面に見える筈の西天狗（2,646m）が真っ白…。ガスで全く見えなくなったため、西天狗登頂は断念。夏なのに段々身体も冷えてきて、一泊目のオーレン小屋に転がり込んだのでした。小屋に入れば身も温まるし、夕食の馬肉すき焼きは美味しかった…。けれど、そもそも連日

の山登りは初めて。日帰り登山なら、その日下山してしまえば体力が消耗してしようと、両足が筋肉痛だろうと関係ないのですが、この状態で明日も登山が続けられるの・・・？かなり不安でした。

案の定、翌日の午前中までは身体が重くてツラかった～(泣)加えて、天候は最悪！ガスがひどくて周囲の景色が全く見えない上に雨まで降ってきた。夏沢峠から硫黄岳（2,743m）、そして横岳（2,829m）へ。実はこの横岳山頂に向かう直前、道を間違えました。ひどい天候で焦る中、ガスで視界も悪かったので、大きな岩の裏側にある鎖場の道に気づかず、別の道を進んじゃったんです。どんどん道が細くなる中、あの小高い所を越えたら道が開けるのだらうとたどり着いたら、断崖絶壁…(真っ青)。足の巾ほどの道を必死の思いで戻ったのでした…。道なき道を踏み外したら、それは滑落…。ホント、生きて帰れてよかったです…。10℃前後の寒さとガスと雨の上に、強風まで吹き始めたのですが、14時前に赤岳天望荘に何とか到着！助かりました～(泣)



道なき道を必死で戻る



何とか横岳登頂も後ろは真っ白！



赤岳展望荘のまわりは何も見えず…

四日目、早朝から天候とにらめっこ。山頂までは、もう1時間もかからない距離。けど急斜面…。ガスが濃い上に、ゴウゴウと強風が吹いている。朝5時くらいからずっと様子を伺っていたんですが、収まる気配が見られず断念。帰りのバスの時間もあるので、朝9時過ぎ、下山開始。でもこれ、結構距離あるんです。しかも途中で何度か豪雨に見舞われ、その都度足止め。よたよたと4～5時間かけての下山でした…。

でも、いい教訓になりました。山はいつも晴天という訳ではない。また、道を間違えたら命取りになる。夏だって、雨風でめちゃくちゃ寒くなる…

それと山小屋の悪いイメージは吹っ飛びました！とても快適で居心地良くてビックリ。とにかく大きくて強風にもビクともしない。こんな所でこんな食事ができるなんて！また石鹸やシャンプー、歯磨き粉などは浄化の関係で使えず、浸るか掛け湯という制限はあるものの、そもそも風呂に入れる事がスゴいと思いましたよ。



ホントならこんな山頂が拝めるのに…

この時は絶景が見られなかったので、いつかリベンジしたい！と思っているんですけどネ。なかなかその機会に恵まれなくて…。でも、いつの日かもう一度、登ってみたい山が八ヶ岳連峰であり、赤岳です。

#### ・二日目から四日目までのルート



⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

日本最大規模の環境展「エコプロ 2018 <SDGs 時代の環境と社会、そして未来へ>」が12月6日（木）～8日（土）、東京ビッグサイトで開催されます。VEC（塩ビ工業・環境協会）とJPEC（塩化ビニル環境対策協議会）は2年ぶりに共同出展します（ブース：東6ホール 6-002）。塩ビ製品の耐久性、長寿命、省エネ、リサイクル性など優れた特徴を紹介します。クイズラリーも用意しています。皆様のご来場をお待ちしております。

<http://eco-pro.com/2018/>

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601    ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp>    ■ E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

---

---